

**ポップアップ式 EVF を採用した “PowerShot G5 X Mark II” を発売
携帯性に優れたコンパクトボディとファインダー撮影を両立**

キヤノンは、プレミアムコンパクトカメラ G シリーズの新製品として、ポップアップ式の EVF（電子ビューファインダー）を採用し、携帯性を高めた “PowerShot G5 X Mark II” を 2019 年 8 月上旬より発売します。



PowerShot G5 X Mark II



PowerShot G5 X Mark II (EVF ポップアップ時)

“PowerShot G5 X Mark II”は、内蔵 EVF とバリエーション液晶モニターで好評を得た従来機種「PowerShot G5 X」（2015 年 10 月発売）をリニューアルし、撮影スタイルにこだわりを持つハイアマチュアユーザーのニーズに対応します。

■ ポップアップ式 EVF によりコンパクトボディとファインダー撮影を両立

ポップアップ式の EVF を格納することで、携帯しやすい約 110.9mm（幅）×約 60.9mm（高さ）×約 46.0mm（奥行き）のコンパクトサイズを実現しています。0.39 型・約 236 万ドットの高精細有機 EL パネルを採用した EVF を搭載しており、ファインダーによる快適な撮影が可能です。

■ 積層型 CMOS センサーと DIGIC 8 の組み合わせにより動画と高速連写の性能が向上

1.0 型・有効画素数約 2010 万画素^{※1}の積層型 CMOS センサーをキヤノンで初めて採用し、映像エンジン DIGIC 8 との組み合わせにより、動画と高速連写の性能が向上しました。また、キヤノンのコンパクトデジタルカメラで初めてクロップのない 4K 動画撮影^{※2}を実現しており^{※3}、レンズの画角を生かして風景など広角で撮影したいシーンで活用できます。さらに、最大約 30.0 コマ/秒^{※4}の高速連写ができるため、撮影者の狙った大切な瞬間を撮影できます。

■ 新設計の大口径レンズによる明るく豊かな表現力

新設計の大口径で明るい光学 5 倍ズームレンズ（24-120mm 相当^{※5}/F1.8-F2.8）により、広角から望遠まで幅広い撮影表現ができ、暗いシーンでもブレやノイズを抑えて、高画質に描写することが可能です。また、マクロ（近接）撮影では、広角側の球面収差を改良し、良好な解像感を得られます。

製品名	参考価格	発売日
PowerShot G5 X Mark II	オープン価格	2019 年 8 月上旬

※1 総画素数は約 2090 万画素。
 ※2 4K(30p/25p)、自動水平補正 OFF、手ブレ補正設定 OFF 時。ハイレームレート動画の場合、フル HD (120p/100p)。
 ※3 同時発表となる PowerShot G7 X Mark III でも同様に実現。
 ※4 RAW バーストモード時、AF 固定で最大約 70 コマ（プリ撮影を含む）撮影可能。
 ※5 35mm フィルム換算。

● 一般の方のお問い合わせ先： キヤノンお客様相談センター 050-555-90005
 ● コンパクトデジタルカメラホームページ： canon.jp/cdc

<主な特長>

1. ポップアップ式 EVF によりコンパクトボディとファインダー撮影を両立

- ・収納可能なポップアップ式 EVF を採用することで、より携帯性に優れた約 110.9mm (幅) × 約 60.9mm (高さ) × 約 46.0mm (奥行き) のコンパクトサイズを実現。従来機種「PowerShot G5 X」より 37g 軽い約 340g* に軽量化。
- ・約 236 万ドットの 0.39 型有機 EL を用いた EVF により、ファインダーによる快適な撮影を実現。
- ・アイセンサーにより、ファインダー表示とライブビュー表示を自動切り換え。
- ・ファインダー撮影時には、タッチ操作が可能なチルト式タッチパネルと EVF が連動。EVF 上に表示された AF 枠を液晶モニターにタッチすることで移動できる「タッチ&ドラッグ AF」機能を搭載しており、EVF から目を離すことなく、直感的なピント合わせを実現。
- ・連続撮影中にブラックアウトせずに被写体を見続けることができ、変化や動きを逃さずに撮影可能。

※ バッテリーパック・メモリーカード含む (CIPA 準拠)。



PowerShot G5 X

PowerShot G5 X Mark II

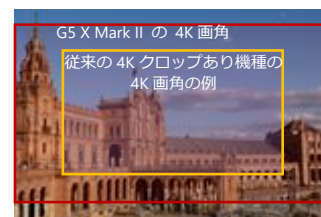
外観比較



「タッチ&ドラッグ AF」使用イメージ

2. 積層型 CMOS センサーと DIGIC 8 の組み合わせにより動画と高速連写の性能が向上

- ・1.0 型・有効画素数約 2010 万画素の積層型 CMOS センサーをキヤノンで初めて採用。映像エンジン DIGIC 8 との組み合わせにより、動画と高速連写の性能が向上。
- ・キヤノンのコンパクトデジタルカメラで初めてクロップのない 4K 動画撮影を実現。レンズの画角を生かして風景など広角で撮影したいシーンで活用が可能。
- ・4K で撮影した動画は、カメラの操作で静止画として切り出すことが可能*1。これにより、4K 動画で撮影し、後から静止画を切り出して活用することもでき*2、大切な瞬間を動画と静止画の両方で気軽に残すことが可能。
- ・最大約 30.0 コマ/秒の高速連写で RAW**3 画像を連写できる「RAW バーストモード」を搭載。
- ・RAW バーストモードではシャッター半押し状態で撮影を開始し、シャッター全押しの最大約 0.5 秒前から記録できる「プリ撮影」が可能。
- ・ドライブモードの連写でも AF 固定で最大約 20.0 コマ/秒、AF 追従でも最大約 8.0 コマ/秒の連続撮影が可能。
- ・明るさやコントラストを自然な印象に自動補正する「オートライティングオプティマイザ」を搭載し、従来よりも白トビや黒つぶれの少ない階調豊かな表現を実現。
- ・DIGIC 8 の搭載により、高感度撮影時の良好なノイズ耐性や解像感を実現し、最高 ISO 感度 12800 (拡張時: 25600 相当) で静止画の撮影が可能。



クロップあり/なしの違い

*1 動画の 1 コマを静止画として保存するため、通常の静止画と同等の画質にはなりません。静止画のアスペクト比は 16:9 です。

*2 切り出された静止画をカメラでトリミングすることはできません。フル HD、HD 動画のフレームの切り出しはできません。

*3 フォーマットは「.CR3」。

3. 新設計の大口径レンズによる明るく豊かな表現力

- ・新設計の大口径で明るい光学5倍ズームレンズ（24-120mm相当／F1.8-F2.8）により、広角から望遠まで幅広い撮影表現ができ、暗いシーンでもブレやノイズを抑えて、高画質な描写を実現。
- ・マクロ（近接）撮影では、広角側の球面収差を改良し、良好な画質を実現。
- ・通常モード時のテレ端での最短撮影距離^{※1}を20cmに短縮し、ハーフマクロ同等の最大撮影倍率0.47倍^{※2}を実現。
- ・9枚羽根の虹彩絞りにより美しいボケ味や夜景のきれいな光芒^{こうぼう}など、広角から望遠まで幅広い撮影表現が可能。



マクロで撮影した花びら

※1 レンズ先端からの距離。

※2 アスペクト比3:2時、35mmフィルム換算。

4. Wi-Fi/Bluetooth®など撮影後の楽しみを広げるネットワーク連携

- ・スマートフォン（スマホ）などの携帯端末への接続手段として、Wi-Fiに加え、Bluetooth接続にも対応^{※1、2}。初回接続時にペアリング設定をすることで、カメラとスマホ使用時にBluetoothで自動的に接続。また、画像転送時は、BluetoothからWi-Fiへ自動的に切り替わるため、カメラ側での手動のWi-Fi接続操作が不要となり、簡単に画像送信をすることが可能。
- ・Wi-Fiに接続されているスマホに撮影と同時に画像を自動送信できる「撮影時画像自動送信」を搭載^{※2、3}。また、カメラ内データの閲覧や転送において、4K動画の転送にも対応^{※4}。カメラ内の4K動画をフルHDに変換して送信することで、4K動画のまま転送するより早く、SNSやスマホでの再生で汎用性がある動画として取り込むことも可能。

※1 Bluetooth Low Energy 技術に対応。以降の表記においてはBluetoothと記載。Bluetooth機能の動作条件は、接続機器がiOS/Android:Bluetooth 4.0以上を搭載するデバイスです。ただし、上記の動作条件を満たす機器であっても、機種によっては、Bluetooth接続ができない場合があります。Bluetooth接続ができない場合、一部の位置情報付与の機能が使用できません。Bluetooth接続ができない場合でも、機器とWi-Fi接続による画像の転送、リモート操作は可能です。また、Bluetooth接続には、事前にカメラと携帯端末をペアリングさせておく必要があります。

※2 カメラと携帯端末のWi-FiやBluetoothでの接続には、キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」のインストールが必要。「Google Play」「App Store」より無料でダウンロードが可能。

※3 オリジナルデータ（JPEG）やリサイズした縮小画像が送信可能です。

※4 4K動画のまま転送することも可能ですが、スマホによっては再生できない場合があります。

<コンパクトデジタルカメラの市場動向>

2018年の世界のカメラ市場におけるコンパクトデジタルカメラの販売台数は、約1,050万台となりました。2019年は、約850万台を見込んでいます。（キヤノン調べ）

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

* Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

* App Storeは、Apple Inc.の商標です。

* Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

* その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

新製品の参考価格のご案内

2019年7月9日
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

本日発表した新製品の参考価格をご案内いたします。

製品名	発売予定日	価格	参考価格※ キヤノンオンライン ショップ販売予定価格 (税別)
PowerShot G5 X Mark II	2019年 8月上旬	オープン価格	105,000 円
ソフトケース CSC-G11 (BK)			13,000 円

※ 上記参考価格はキヤノンオンラインショップ(キヤノン直販ウェブサイト)における2019年7月9日時点での販売予定価格であり、各販売店での価格を拘束するものではありません。各販売店での価格は各店にお問い合わせください。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター (コンパクトデジタルカメラ) 050-555-90005
